

中日大学ガバナンスの比較研究

—大学経営協議会の機能に注目して—

日本の国立大学法人化改革

一.日本の国立大学法人化改革の背景と原因

日本では高等教育の機構が複雑であり、高等教育は建設主体の違いによって国立法人大学、公立大学と私立大学と言う3種類に分かれて、国立大学は日本の高等教育の中心である。

日本国立大学は国の内部機関であり、文部科学省は国家の国立大学を行う機構である。20世紀90年代後、日本の経済が衰退した背景で行政改革は日本国立大学法人化の主な原因である。経済危機の下での行政問題を解決する、社会安定を保障するため、1991年1月に、公務員を削減する政策を提出した。当時の文部科学省の公務員の数量は13万人あまりになっていた。それで、国立大学が改革されなければ公務員の数量を減らす政策は完成することができないような状態である¹。日本の国立大学に長い間採用された官僚型管理体制が国立大学法人化改革の根本的な原因である。文部科学省は国立大学の責任者として国立大学に厳格なコントロールを行って²、学問と学術の自由な発展の妨げとなったと思う。

二.日本の国立大学法人化改革の主な内容

日本の国立大学の設置者は文部科学省である。そのように大学の上司管理部門も同じ文部科学省である。だから、国立大学は財務、予算、課程編成、大学教師の人事関係等いろいろな方面で文部科学省の強力なコントロールを受けている。それ以外に大学職員の採用、昇格とポスト支配、研修等人事事柄も文部科学省が管理している。各大学の大学を経営、研究状況の把握等に通じて国家は教育法規を実施させている³。

2004年に、全国範囲で“国立大学”は“国立大学法人”に転換し、それから国立大学法人化は大学に対する国家のコントロールの開始を弱めて、大学と政府の関係は法律を通じて明確に規定された。それによって、国立大学の自主権が増加して、政府の大学に対する予算、組織機構及び人事管理の関与制度は軽減する⁴。

国立大学法人は大学を運営する主体になり、大学校長は国立大学の法人の代表になって、大学は学校内教科目（学科）、専門と学校内各部門の設置の決定権を持ち、国立大学法人と職員、教員の身分も国家公務員から非公務員の形へ移動して、職員の採用方法は国立大学法人等が合同で実施する試験を通じて行うよう変更された。各大学は昔の文部科学省の統一規定の設置標準で大学を運営することができない。ただ、文部科学省は相変わらず国立大学法人に管理と監督権を持っている。

先ず、政府は“中期目標”を通じ、“国立”と“法人”を統一して、国立法人大学を運営する目的を実現した。具体的なプロセスは政府から六年有効の“中期目標”を大学に伝達し、大学は“中期目標”に照らして“中期計画”を決める。続けてこの“中期計画”を必ず文部科学省に引き渡して、文部科学省の審査を受けて、文部科学大臣の許可を獲得した場合この“中期計画”は大学で実行される。

それに、大学は毎年文部科学省に“中期計画”を完成した状況を報告し、文部科学省の“大学評価委員会”の評価を受ける。次に文部科学省は割当金の形式で大学を間接的に指導している。多くの大学は割当金競争で有利な地位を獲得しようと考えて、発展目標を変更するさでつつ。このように国家教育意識は各大学に浸透している⁵。

三.日本の国立大学法人化改革の結果について

教育の方面では、日本の国立大学が法人化改革されて、各国立大学は経営する権力を持ち、各国立大学では自分に責任にする教育が行われるようになった。その上に、各国立大学は自分だけの特長がある学問の研究を強化させて、現代社会と経済ニーズに適応するように進む。

国家の財政方面では、政府の国立大学に投資金額が明らかに減り、政府の巨大な財政のプレッシャーを一部改善した。

四.国家と国立大学法人化の関係について

大学は国家に国家発展のため建設された教育活動を行う場所である。だから国家と大学は分離してはいけない緊密関係にある。国家は大学のコントロールを強化するため、高等教育政策を持っている。

¹ 李琳琳 『日本国立大学法人化之我見』 河南职业技术师范学院学报(职业教育版) 2005 年第 1 期

² 吴琦 『日本国立大学法人化改革及其启示』 江苏大学学报(高教研究版) 2006 年 1 月第 1 期

³ 陈永明, 朱浩, 李昱辉 『大学理念, 组织与人事』 中国人民大学出版社 2007 年 11 月 (171 ページ~172 ページより)

⁴ 同じ (参见马陆亭等: 《刻不容缓: 确保高等教育可持续发展的未来》, 载《国家教育发展研究中心研究动态》, 2005 年 8 期)

⁵ 陈永明, 朱浩, 李昱辉 『大学理念, 组织与人事』 中国人民大学出版社 2007 年 11 月 (172 ページ~173 ページよりまとめ)